

地域の子供たちのまなびを支援 ～自学自習の習慣や学力の定着を図る～

京都府京都市

活動名

紫野小学校放課後まなび教室

関係する学校

京都市立紫野小学校

活動区分		※H25年度の実績(補助の有無についてはH26年度の状態)			
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度	補助の有無
	学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
		1人	41.3人	137日	有
コミュニティ・スクール	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携	
	なかよし室(放課後まなび教室専用室)		20年度	有	
	指定日	委員数	児童生徒数	学級数	

活動の概要

- 放課後における児童の自学自習を中心とした学習習慣の定着と安心安全な居場所の充実を図るため、平成20年度に開設。
- 開設当初は週3日の実施であったが、平成24年度から週4日実施している。(月、火、木、金曜日)
- 年々登録児童数が増加しており、平成26年度は全校児童数の半数を超える児童が登録している。
- 教室にきた児童は参加カードを提出し、まず宿題や自分の課題に取り組んだあと、教室で用意したプリントで学習し、それが終わると読書や折り紙などに取り組んでいる。
- スタッフは、地域の元PTA役員で構成されており、研修会に参加するなど資質向上にも積極的に取り組んでいる。
- 地域の実行委員会やスタッフ会議を定期的に行い、安定した教室運営を行っている。

● 特徴

【特徴的な活動内容】

- 教室にきた児童は、スタッフにきちんと挨拶するとともに参加カードを提出し、宿題や自分の課題に集中して取り組んでいる。
- 宿題等を仕上げた児童は、スタッフが学年ごとに準備しておいたプリントで自主的に学習に取り組んでいる。
- 自主学習を終えた児童は、引き続き、プリント学習、読書や折り紙などに取り組んでいる。
- 折り紙教室も実施しており、立体的な折り紙作品を作成している。
- スタッフは子供一人一人に積極的に声をかけて活発なコミュニケーションを図っており、たいへん明るい雰囲気の中で児童が活動している。

【実施に当たっての工夫】

- 教室内に辞書類をはじめとする図書を配架したり、地図を掲示するなどして、学習に適した環境づくりを行っている。
- 教室で仕上げたプリントや折り紙作品などを収納できるよう、登録児童全員の個人別の棚を設置している。
- 課題を終えた児童に好きなシールを選ばせて配付している。
- 年度始めに保護者説明会を実施し、十分な理解を得たうえで登録を受け付けるなど、丁寧な対応で保護者の信頼を得ている。
- 学校の教頭、教務主任が放課後まなび教室を担当し、放課後まなび教室実行委員会やスタッフ等との連携を確実にし、円滑な運営が行われている。校長、教頭をはじめ学級担任も放課後まなび教室に顔を出し参加児童の様子を把握している。



普段の活動の様子



教室での成果を収めた登録児童全員の棚



図書を配架するなど学習環境を整備

● 事業を実施して

- 宿題を確実に仕上げることが習慣化され、宿題以外の発展的な学習に取り組む姿勢が見られ、学校全体の学力向上に寄与している。
- 児童とスタッフ、保護者がお互いに顔見知りとなり、良好な人間関係が構築され、学校外においても声をかけあうなど地域で子供を育てる環境づくりに寄与している。
- 児童とスタッフの信頼関係ができており、児童は約束事がしっかり守れ、活動中も集中して取り組んでいる。

● その他

- 「放課後まなび教室」の取組について保護者、地域住民の理解が深まり、より一層地域・学校・保護者の連携が強化され、参加児童も年々増加している。